



第5回 復興音楽祭

夢 Dream

2024.4.21(sun) 開場 13:30 開演 14:00

Sunstar Hall (サンスターホール) **入場無料**

安芸郡坂町坂東二丁目 20 番 1 号 (坂駅より徒歩 7 分)

主催：復興音楽祭実行委員会

後援：坂町、坂町教育委員会、坂町文化協会、広島文化学園大学
くらしき作陽大学、作陽短期大学、くらしき作陽大学鶴声会
(株)ワタナベミュージックラボ

出演

◆小屋浦ミュージックファミリー

崎本茉那 崎本紗弥花 水馬怜葦 水馬悠綺 反本正典 岩本輝月 河本真波
岩本輝星 中川結莉香 大久保琥哲 大久保遥空 大久保来実 コール・マーレ

◆広島県警察音楽隊

Guest



ソプラノ
岩本 未来



ハーブ
木岡 祥子



ボーカル
松岡 拓

曲目

「サチアレ」

「S. ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番より」

「ひとつ」他

Special Guest



エレクトーン
神田 将

1台のエレクトーンでフルオーケストラを思わせる豊かな音を奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン奏者。特にクラシック作品の演奏を得意とし、独自の技術と高い音楽性が絶賛されている。仙台クラシックフェスティバル(2009)や、霧島国際音楽祭(2013)などの日本を代表する音楽祭に、唯一のエレクトーンを演奏する日本人音楽家として各国で人気を博している。国内では、ソロコンサートを中心にしながらも、数々の一流音楽家との共演や舞踊や邦楽などジャンルを超えたコラボレーションでも好評を博す。また、第九演奏会やオペラ上演でのエレクトーン1台によるフルオーケストラ担当、全国各地の小中学校への訪問コンサートなども積極的にこなす。エレクトーンの可能性を広げるための努力を重ねているほか、公演の制作や演出の手腕にも定評がある。東京文化会館でのリサイタルを2015年から継続しており、2021年にはエレクトーン史上初となる東京文化会館大ホールでのリサイタルを成功させた。2024年に演奏家活動30周年を迎え、演奏のみならずスマートなトークにも磨きがかかり、今後の活躍が期待される。
公式ホームページ www.yksonic.com

Special Guest



ピアノ
米津 真浩

千葉県立幕張総合高校を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)卒業。同大学院を首席で修了。大学、大学院在学中特待奨学生として在学。2009年度、同大学ティーチングアシスタント。大学院修了後、異例の若さで母校である東京音楽大学にて非常勤助手として後進の指導に当たりその後、更なる研鑽を積みため、2013年・2014年度ローム・ミュージックファンデーション奨学生としてイタリアの名門イモラ音楽院へ留学。2007年 第76回日本音楽コンクールピアノ部門 第2位入賞。岩谷賞(聴衆賞)を受賞。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団、千葉交響楽団ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、Gross Vogel Philharmoniker、東京音楽大学プレイングオーケストラ 等様々なオーケストラと共演。仙台クラシックフェスティバル2011年2012年出演、成田国際空港ピロコンサート出演。ソロ、室内楽等の演奏活動だけにとどまらず、クラシック音楽の普及をモットーに音源や記事の提供、TV出演、ボランティア活動、後進の指導、小学生から高校生までを対象とした学校公演を行ったりとアウトリーチ活動にも積極的に力を注ぐ。これまでに寺田菜子、高梨淳子、村上隆、弘中孝、Leonid Margariusの各氏に師事。また、M.ラエカッリオ、P.ネルセシアン、S.ドレンスキー、A.サッツ、M.ペロフ、D.ヨッフエ、B.リグット、V.リヤードフ、B.ゲツケ、T.ゼリクマン、B.ベトルシヤンスキー、P.ドヴァイヨンといった世界的なピアニスト・教授陣の指導を受ける。2015年冬より拠点を日本へ戻し本格的に演奏活動を開始。フジテレビ「金曜日の聞きたい女たち」、テレビ朝日「芸術ハカセ」「ならデキ」等のテレビ番組やラジオといったメディアへの出演やYouTube等SNSを使った活動も積極的に行う。
<https://linktr.ee/yonezutadahiro>

Special Guest



エレクトーン
菊池 玲那

1996年生まれ。2歳からヤマハ音楽教室に通う。幼少よりエレクトーンを岡本広美氏、ピアノを柳生雅永子氏に師事。一般財団法人ヤマハ音楽振興会エレクトーン特別ゼミで出会った神田将氏の音楽に憧れ、2010年に入門して現在に至る。2017年には、韓国昌原第九、実業第九両楽第九に合唱団員として参加し、神田将氏の演奏と共に歌う。2018年4月には、姫路労音「エレクトーンの魅力を学ぶ集い」に出演。2020年にエレクトーン演奏家として本格的に活動をスタートし、玉村三幸(フルート波多江史朗(サクソフォン)、石川昇平(パーカッション)、米津真浩(ピアノ)、松本昌子(シンガー)、清水理恵(ソプラノ)、平野雅世(ソプラノ)、井上美和(メゾソプラノ)、マンドリンオーケストラコンコルディア等と共演。日本青少年文化センターによる学校訪問巡回コンサートに参加する他、舞台監督や制作のアシスタントも務めるなど経験を広げており、将来を期待されている。



司会
川添 康子

山口県岩国市出身。司会、音楽パフォーマー、講演、講座、障害者支援、芸能プロダクション、ミュージックスクール経営など多方面において活動中。音遊びエンターテイメントグループ「おながくこうじょう。」では、パフォーマーとして舞台上立つ一方、楽曲制作から舞台演出までを担うプロデューサーとして、総観客数60,000人を越えるアーティストへと導く。KZY MUSIC(ケイジーミュージック) school & office 代表。



実行委員長
城谷 智子

広島県呉市出身。結婚を機に坂町小屋浦へ移住。2018年西日本豪雨災害で被災し最も被害が大きかった地区に住みながら奇跡的に幾つもの所有する楽器が守られる。音楽で街を元気にしたいという思いから災害から8ヶ月後自ら実行委員会を立ち上げ、多くの協賛支援を戴き復興音楽祭〜手と手を繋ごう坂町〜を成功させる。音楽は痛んだ心を癒す最高の治療薬であり元気の源であることを仲間と共に広げていきたいと思っている。
(株)ワタナベミュージックラボピアノ・エレクトーン講師。